

令和 6 年度



## 1 学年学習案内



伊勢市立小俣中学校

# 目 次

|     |          |           |
|-----|----------|-----------|
| 国語  | ・・・・・・・・ | p 1 ～ 2   |
| 社会  | ・・・・・・・・ | p 3 ～ 4   |
| 数学  | ・・・・・・・・ | p 5 ～ 6   |
| 理科  | ・・・・・・・・ | p 7 ～ 8   |
| 音楽  | ・・・・・・・・ | p 9 ～ 10  |
| 美術  | ・・・・・・・・ | p 11 ～ 13 |
| 保体  | ・・・・・・・・ | p 14 ～ 15 |
| 技・家 | ・・・・・・・・ | p 16 ～ 17 |
| 英語  | ・・・・・・・・ | p 18 ～ 19 |
| 道徳  | ・・・・・・・・ | p 20 ～ 21 |

この学習案内は中学校の1年間で学習する内容です。

## 国語科の学習

## 【教科の魅力】

「言葉の力」は、わたしたちの人間形成・社会形成のなかで重要な意味を持っています。

わたしたちは日常的に、「言葉」で感じ、「言葉」で考え、「言葉」で伝えながら生活しています。「言葉」をたくさん持ち、豊かに表現できる人は、自然に感性も豊かになっていきます。また、自分の考えや思いを適切なことばで表現したり、相手と伝え合ったりすることができることは、とても嬉しいことです。

「言葉」の感性を磨き、素敵な日本語の使い手となって、相手のことを理解したり自分のことを伝えたりしながら、心と心がつながる喜びを感じてほしいです。

## 【国語科の学習を楽しむには】

○「国語科」はみなさんの発言で成り立つ教科です。

『授業はまちがえる場だ』をモットーに、発言が飛び交う活発な授業をつくりましょう。

○伝え、伝わる喜びを味わうために、すすんで表現(話したり書いたり)しましょう。

○与えられた学習課題に対して、意欲的に答えを探すようにしましょう。

どんなことも『やらされている』と思えばつまらないし、自分に『まかせておけ』という気持ちで

やれば楽しいです。難しい問題ほど、答えにたどり着いた時の達成感は大きいです。

○「いつ」「どこで」「だれに」を考えて、正しい日本語で伝え合ひましょう。

正しい日本語が使えると、社会人として高く評価されます。

○どんなことでもよいので、何か一つ『得意なこと』をつくりましょう。

(例えば、「美しい字が書ける」「ことわざに強い」「暗唱できる作品がある」など。)

得意なことがあると、自信が持て、やる気もわいてきます。

## 1 定期テストの勉強方法

○学校の定期テストは、自分の参考書(授業で使っている自分のノート)が頼りになります。

そのためには毎日の授業で、集中して先生の話や仲間の意見を聞き、黒板に書いてあること以外にも大事なポイントや、気づいたこと・学んだことなどを工夫して書くとよいです。

○「漢字」は、テスト範囲のものを覚えるまで書く。見るだけでは、覚えにくいです。

○「慣用句・四字熟語・ことわざ」等は、学習プリントやワークブック、資料集などを見て覚えながら書きましょう。単語帳のようなものにまとめ直すのも効果的です。

○「文法」は練習問題をたくさんやり、わからない問題は先生に聞くなどして解決しましょう。

○テスト範囲の教材文は繰り返し読みましょう。文章中の言葉の意味や、接続語、指示語に注意しましょう。

○テスト範囲を教科書・ノートや学習プリント、ワークブック等で復習しながら、学習ポイントをふり返りましょう。

## 2 家庭学習のポイント

○教科書を何度も読む。(声に出したり、黙読したりする。特にすらすら読めるようになるまで声に出して読む。)

○漢字小テストにあわせて漢字を何度も書いて、着実に覚える。(漢字練習用ノートを作るとよい。)

○その日に学習したことを、ノートを見ながらふり返る。

○学習している教材は、授業の進度に合わせて家で教科書やノート、プリント等で復習する。

○国語の問題集(教科書以外の内容)を1冊やりきる。

○身の回りのことや社会的事象に意見を持ち、意識して文章に表したり発言したりする。

○日常的に読書に親しみ、新聞のコラムや好きな記事を継続的に読む習慣をつける。

## Ⅱ 国語科の学習の評価について 学びを楽しもう

【国語】科では、こんな方法でみなさんの学習を評価しています。

| 教科の観点                                                                                                                                      | 具体的な生徒の表れ(例)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>(何を理解しているか<br>何ができるか)                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。</li> <li>・ 古典特有のリズムを味わいながら古文や漢文を音読することができる。</li> <li>・ 古典に表れた物の見方や考え方に触れ、当時の人々の思いを想像することができる。</li> <li>・ 漢字や仮名など、字形を整え、大きさや配列、配置に気をつけて書くとともに、漢字に対して関心を持ち、漢字を書いたり読んだりする力を伸ばすことができる。</li> <li>・ 文法を正しく理解して、文節相互の関係や単語について理解を深め、段落の役割や文と文との接続関係、文の組立に役立てることができる。</li> <li>・ 慣用句・四字熟語・ことわざに関心を持ち、意味を理解して、自分の表現に役立てることができる。</li> <li>・ 文章の組立や展開、説明や描写などの表現のしかたや、文体などの文章の特徴に注意して読むことができ、さらに読み取ったことを自分の表現に役立てることができる。</li> </ul> |
| 思考力・判断力・表現力<br>(理解していること・<br>できることをどう使うか)                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</li> <li>・ 文章を読んで、人間・社会・自然などについて考え、さらに情報を集め、自分のものの見方や考え方を広げることができる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 主体的に学習に取り組む態度<br>(粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する)                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養えたかどうか見ます。</li> <li>・ 正しい発音・表記・表現に努め、常に「正しい日本語」を意識して話したり書いたり聞いたりしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <b>【備考】</b><br>授業への取り組み、提出物や宿題、小テストや定期テストなどを、これらの観点で評価して成績をつけます。「話す」「聞く」「書く」「読む」の基礎となる「国語の特質に関する事項(言葉の特徴やきまり、漢字、書写)の知識・理解・技能」は高めておきたいものです。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

## Ⅲ 年間指導計画

|    |                                                                                 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | 朝のリレー<br>言葉に出会うために<br>・野原はうたう<br>1 学びをひらく<br>・シンシュン                             |
| 5  | ・情報を的確に聞き取る<br>・漢字①                                                             |
| 6  | 2 新しい視点で<br>・ダイコンは大きな根?<br>・ちよつと立ち止まって<br>・文法1<br>・話の構成を工夫しよう<br>情報社会を生きる       |
| 7  | 3 言葉に立ち止まる<br>・詩の世界<br>・比喩で広がる言葉の世界<br>・言葉①<br>・言葉を集めよう<br>・書写「硬筆」              |
| 8  | 読書生活を豊かに<br>・読書を楽しむ<br>・本の中の中学生                                                 |
| 9  | 4 心の動き<br>・大人になれなかった弟たちに……<br>・星の花が降るころに<br>・聞き上手になろう<br>・言葉②<br>・漢字②           |
| 10 | 書写「毛筆」<br>5 筋道を立てて<br>・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ<br>・話題や展開を捉えて話し合おう                       |
| 11 | 6 いにしえの心にふれる<br>・いろは歌・古典の世界<br>・蘆葉の玉の枝——「竹取物語」から<br>・今に生きる言葉                    |
| 12 | 7 価値を見いだす<br>・「不便」の価値を見つめ直す<br>・文法②<br>読書に親しむ<br>・考える人になろう                      |
| 1  | 8 自分を見つめる<br>・少年の日の思い出<br>・随筆二編                                                 |
| 2  | ・構成や描写を工夫して書こう<br>・文法③<br>・言葉③<br>・漢字③<br>・印象深く思いを伝えよう<br>・文法③<br>・一年間の学びを振り返ろう |
| 3  | ・さくらのはなびら<br>文法・漢字・振り返り<br>小学6年生で習った漢字                                          |

# I 社会科の学習の取り組みについて

## 社会科の学習

### 【教科の魅力】

私たちが生活する世の中を取り巻く日本や世界の様々な環境や生活習慣を「社会」といいます。「社会」には様々な事象が見られますが、それらを多面的に考察し公正に判断する力や国際社会の中で主体的に生きる資質や能力を身に付けるのが社会科の学習です。具体的には、様々な国や地域の人々の努力や工夫を調べたり、過去の歴史を振り返ったりしながら、「よりよい社会」「よりよい未来」を想定していきます。社会科の学習を通して、「よりよい社会」「よりよい未来」を創る上で必要な正しい判断力を養っていきましょう。

### 【社会科の学習を楽しむには】

- 積極的に自分の考えを表現しよう。友だちと意見交換をし、考えを広めることは「よりよい社会」「よりよい未来」を創る上で重要です。
- 様々な資料を使って、気づきや考えをワークシートやノートにまとめましょう。
- 「なぜ…なのか?」「…はどうなったのか?」という疑問を大切にしましょう。
- 積極的にニュースや新聞に目を通して、社会科の学習と自分の生活とを関連付けてとらえる力を身に付けましょう。

## 学習の進め方

### 【使用教科書】

新しい社会 地理(東京書籍)、中学校社会科地図(帝国書院)、  
中学社会「歴史的分野」(東京書籍)

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう。

#### ○授業への取組

- ・地球儀や地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などから、世界や日本の地域構成を大きくとらえよう。
- ・世界や日本の諸地域について、各地に暮らす人々の生活の様子を知り、それぞれの地域的特色を理解しよう。
- ・世界の諸地域の学習において、世界の諸地域の多様性に関わる基礎的・基本的な知識を身に付け、環境問題や国際社会の平和と発展等地球的な課題について、地域性を踏まえ適切に捉えよう。
- ・地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取り、活用して事象を説明したり自分の考えを発表したりしよう。
- ・歴史上の人物や、身近な地域の歴史上の人物に対して興味・関心を持ち、それぞれの人物が果たした役割や生き方などについて時代的背景と関連付けて考えよう。
- ・我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりして、時代の区分やその移り変わりに気づき、歴史を学ぶ意欲を高め、我が国の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえて理解しよう。
- ・歴史上の出来事や、伝統や文化の特色を、時代や年代、相互の関連や、現代とのつながりに着目して学習し、学習したことを活用し、複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断する力、考えたことを説明したり、それを基に議論したりする力を身に付けよう。

#### ○家庭学習の例

- ・身近な地域の特徴や地理的な特色について興味を持ったことや疑問に感じたことを、地図やインターネットを活用し、調べてみよう。
- ・新聞やテレビの報道を見るなどして、日頃から社会の動きに関心を高めよう。

#### ○小テストの取組の例

- ・小テストは定期テストよりも範囲がせまいので、授業で学んだ知識を短い期間で確認するチャンス。配られるプリント等を活用してしっかり勉強してからのぞもう。

#### ○定期テストへの取組の例

- ・授業で学習したことを、教科書・ノート・地図・資料等を活用して何度も復習しよう。

## Ⅱ 社会科の学習の評価について

| 教科の観点                                         | 具体的な生徒の表れ(例)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br><br>(何を理解しているか、何ができるか)               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけられたかどうかを見ます。</li> <li>・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身につけられたかどうかを見ます。</li> </ul>                                                                                                                                              |
| 思考力・判断力<br>・表現力<br><br>(理解していること・できることをどう使うか) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えたかどうかを見ます。</li> <li>・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養えたかどうかを見ます。</li> </ul> |
| 主体的に学習に取り組む態度<br><br>(粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深められたかどうかを見ます。</li> <li>・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えたかどうかを見ます。</li> </ul>                                                                                              |

## Ⅲ 社会科の年間指導計画

| 月  |    | 第1学年                                            |
|----|----|-------------------------------------------------|
| 4  |    | 第1編 世界と日本の姿<br>第1章 世界の姿                         |
| 5  |    | 第2章 日本の姿<br>第2編 世界のさまざまな地域<br>第1章 世界各地の人々の生活と環境 |
| 6  | 地理 | 第2章 世界の諸地域<br>1. アジア州 2. ヨーロッパ州                 |
| 7  |    | 3. アフリカ州                                        |
| 8  |    |                                                 |
| 9  |    | 4. 北アメリカ州 5. 南アメリカ州 6. オセアニア州                   |
| 10 | 歴史 | 第1編 私たちと歴史<br>第2編 古代までの日本と世界<br>1. 人類の始まりと文明    |
| 11 |    | 2. 日本列島の人々と国家の形成 3. 古代国家の展開                     |
| 12 |    | 第3編 中世の日本<br>1. 古代から中世へ                         |
| 1  |    | 2. 鎌倉幕府の成立                                      |
| 2  |    | 3. 室町幕府と下剋上                                     |
| 3  |    | 第4編 近世の日本<br>1. 中世から近世へ                         |

## 数学科の学習

### 【教科の魅力】

数学は、さまざまな時代に研究され、人々の生活や科学の進歩に役立ってきました。私たちの身の回りにはいろいろな数量や図形があふれています。数学科では、試行錯誤して法則を発見するおもしろさを味わうことができ、物事を豊かに考える態度を養うことができるのです。



### 【学習で大切なこと】

- 「なぜ、そうなるのだろう」と根拠をはっきりさせるようにしましょう。
- 学んだことを簡単にわかったつもりにならないで、とことん納得のいくまで考えてみましょう。追究の後に、驚きや発見があります。

### 1. 定期テストの勉強方法

- 授業で行った内容を教科書やノートで確認し、用語や計算方法の仕組みを再確認しましょう。
- 間違えた問題やわからなかった問題はわかるまで何度でもやり直しましょう。

### 2. 家庭学習のポイント

- 予習の仕方
  - ・教科書で次の授業内容を調べ、疑問に思った部分をチェックしましょう。
- 復習の仕方
  - ・ノートを見直しましょう。
    - ※授業で行った例題を、問題だけ見てもう一度解きましょう。
  - ・学習した範囲の問題集を進めます。
    - ※その場ですぐに答え合わせをしましょう。
    - ※答えを写すだけでなく、なぜそうなるのか考えましょう。
- 発展的な学習の仕方
  - ・「答えが出たら終わり」にせず、どうしてそうなっているのだろう、どうしたらうまくいくだろう、とつねに追究しながら考えていきましょう。
- 問題集の活用
  - ・問題集を使って、基礎的な計算問題の定着を図りましょう。
- 計算問題
  - ・計算ミスをなくすには、途中の式を必ず書くようにするといいでしょう。
- タブレットの活用
  - ・ミライシードを使って学習内容を確認しましょう。

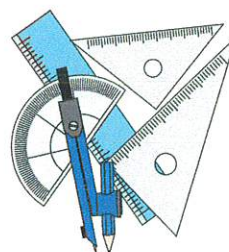
## Ⅱ 数学科の学習の評価について

数学科では、このような方法で皆さんの学習を評価しています。

| 教科の観点                                                                                                                                                                       | 具体的にどこを見るか                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能（何を理解しているか何ができるか）                                                                                                                                                      | ・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身についているかを見ます。                                                                               |
| 思考力・判断力・表現力（理解していること・できることをどう使うか）                                                                                                                                           | ・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けているかを見ます。 |
| 主体的に学習に取り組む態度（粘り強く努力するとともに 自らの学習を調整する）                                                                                                                                      | ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を見ます。                                                                                                                          |
| <b>【備考】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以上のデータをもとにして、各観点を3段階で評価します。</li> <li>・ テストだけで評価していないので、授業、提出物や宿題、問題集など一生懸命取り組めば、よい評価につながります。毎日の努力を大切にしましょう。</li> </ul> |                                                                                                                                                                                                                      |

## Ⅲ 数学科年間計画

| 月   | 1 年                                                 |
|-----|-----------------------------------------------------|
| 4,5 | 正の数・負の数<br>・ 正の数・負の数<br>・ 正の数・負の数の計算                |
| 6   | 正の数・負の数<br>・ 正の数・負の数の利用<br>文字の式<br>・ 文字を使った式        |
| 7   | 文字の式<br>・ 文字式の計算                                    |
| 9   | 方程式<br>・ 方程式<br>・ 方程式の利用                            |
| 10  | 変化と対応<br>・ 関数<br>・ 比例<br>・ 反比例                      |
| 11  | 変化と対応<br>・ 比例、反比例の利用<br>平面図形<br>・ 直線と図形<br>・ 移動と作図  |
| 12  | 平面図形<br>・ 円とおうぎ形                                    |
| 1   | 空間図形<br>・ 立体と空間図形                                   |
| 2   | 空間図形<br>・ 立体の体積と表面積                                 |
| 3   | データの活用<br>・ ヒストグラムと相対度数<br>・ データにもとづく確率<br>1 年生のまとめ |



## 理科の学習の取り組みについて

### I 理科の学習

#### 【理科の楽しさ】

自然の事象には、人間がつくり得ない不思議な現象がたくさんあります。その不思議な現象に疑問をもち、調べ、考え、疑問を解いていく、そして疑問が解けたときの喜びはとて大きくなります。また、その現象が私たちの暮らしとどう関わっているのかを知ることは、今後の私たちのさらなる豊かな暮らしにつながっています。

#### 【理科の学習を楽しむには】

- ・ 自然現象に対して「どうなっているのだろう」と疑問をもち、調べてみる。
- ・ 五感をフルに使って観察・実験に取り組み、わかったことを自分で説明（書く、話す）してみる。
- ・ 「予想」「観察・実験」「結果」「考察」「結論」という過程を通して解決しようとする。

#### 1. 定期テストの勉強方法

- ・ 教科書、ノート、実験・観察プリントをよく読み返す。（何度も繰り返し行くとよい）
- ・ 実験・観察（プリント）を見直し、実験・観察の目的・方法・結果・考察・結論を理解する。
- ・ 問題集をくり返し行う。（何度も繰り返し行くとよい）
- ・ 問題集の答えを見てもわからないところは、必ず質問する。

#### 2. 家庭学習のポイント

##### ○予習の仕方

- ・ 学習課題の予想や実験・観察の方法を理解しておく。
- ・ 日頃から疑問や不思議・驚きをメモしておく。

##### ○復習の仕方（復習は大事）

- ・ ノート、教科書を見直し、本時の授業を振り返ろう。
- ・ 問題集を解く。答え合わせをし、わからないところは、必ず調べたり質問したりする。

##### ○発展的な学習の仕方

- ・ 自然現象に対し、常に「どうなっているのだろう」と考える習慣を付けよう。

### II 理科の学習の評価について

| 教科の観点                                         | 具体的な例                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>(何を理解しているか<br>何ができるか)                | 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いたかどうかを見ます。<br>・ テスト(定期テストや小テストなど)<br>・ 実験観察の態度、技能<br>・ レポートの構成の工夫 など |
| 思考力・判断力・表現力<br>(理解していること・できる<br>ことをどう使うか)     | 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養えたかどうかを見ます。<br>・ テスト(定期テストや小テストなど)<br>・ 実験観察結果やまとめの考察<br>・ レポートの考察内容<br>・ 授業態度・発表 など                  |
| 主体的に学習に取り組む態度<br>(粘り強く努力するとともに<br>自らの学習を調整する) | 自然の事物、現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養えたかどうかを見ます。<br>・ 授業態度、発表、忘れ物<br>・ レポートやノート等の提出物<br>・ 各種レポートにおける感想・考察 など                     |

#### 【備考】

- 授業以外に、日常生活の中で理科と関わりを持ったり、関わりを持ったものを見つけようとしたりする姿勢が望ましいでしょう。
- 定期テストは6・9・11・2月に実施します。

### Ⅲ 学習内容について

| 学期      | 単元                                                                             | 評価の観点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>学期 | ○生命分野<br>いろいろな生物とその共通点<br>・植物の特徴と分類<br>・動物の特徴と分類                               | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな植物・動物の共通点と相違点に着目しながら、植物・動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物・動物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物・動物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物・動物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                |
| 2<br>学期 | ○物質分野<br>身のまわりの物質<br>・いろいろな物質とその性質<br>・いろいろな気体とその性質<br>・水溶液の性質<br>・物質のすがたとその変化 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質について・気体の発生とその性質について・水溶液について・状態変化と熱、物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質のすがた・水溶液・状態変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質のすがた・水溶液・状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                        |
|         | ○【エネルギー】<br>光・音・力による現象<br>・光による現象<br>・音による現象<br>・力による現象                        | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光・音・力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき・音の性質・力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光・音・力のはたらきについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズのはたらき・音・力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光・音・力のはたらきに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                              |
| 3<br>学期 | ○【地球】<br>活きている地球<br>・身近な大地<br>・ゆれる大地<br>・火をふく大地<br>・語る大地                       | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら、身近な地形や地層、岩石の観察・地震の伝わり方と地球内部のはたらき・火山活動と火成岩・地層の重なりと過去の様子、自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地形や地層、岩石の観察・地震・火山・地層の重なりと過去の様子、自然の恵みと火山災害・地震災害について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方・地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性の規則性、地下のマグマの性質と火山の形・地層の重なり方や広がり方の規則性、火山活動や地震発生の仕組みとの関係性などを見いだして表現しているなど、科学的に探究している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地形や地層、岩石の観察・地震・火山・地層の重なりと過去の様子、自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> </ul> |

# I 音楽科の学習の取り組みについて

## 音楽科の学習

### 【教科の魅力】

みなさんは、美しい音楽を聴いて胸が熱くなったり、思い切り歌った後に感動して涙が出そうになったりした経験はありませんか。音楽には、人の心を動かし感動を与える素晴らしい力があります。私たちは美しい音楽を聴いたり歌ったりすることを通して、心が磨かれ、豊かになっていきます。音楽を学ぶということは、豊かな心を育て、人間としての成長を手助けすることにつながるのです。

### 【学習で大切なこと】

- 恥ずかしがらずに堂々と表情豊かに表現しましょう。
- 楽譜などを参考にして、どのように表現するか主体的に考え、それについて言葉で表現してみましょう。
- その授業のめあてを意識しながら取り組み、振り返りをていねいに行いましょう。
- 鑑賞をすることが豊かな表現につながり、表現することが感性を磨いていきます。どちらも大切にしましょう。

### 1. 定期テストの勉強方法

- 教科書や楽譜を見直し、どのように表現したか思い出してみましょう。
- 鑑賞では、作曲者や楽曲について復習しましょう。

### 2. 家庭学習のポイント

- 予習・復習について
  - ・ 家庭学習は特に必要ありません。「もっとうまくなりたい」と思う人は、楽譜、教科書等を持ち帰り、家でも歌ってみるといいでしょう。
  - ・ 楽譜に出てくる速度標語、強弱記号などをチェックし、読み方や意味などを確認しておくのもいいでしょう。
- 生活の中の音楽
  - ・ 音楽を生活の中に取り入れ、明るく豊かな生活を送ることをめざしましょう。
- 発展的な学習の仕方
  - ・ どんなジャンルの音楽にも興味を持ち、鑑賞してみましょう。
  - ・ 演奏会など、本物の音楽に触れる機会を持ちましょう。

## Ⅱ 音楽科の学習の評価について

音楽科では、このような3つの観点でみなさんの学習を評価しています。

| 評価の観点                                     | 具体的な生徒の現れ（例）                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>（何を理解しているか・何ができるか）               | ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に着けたかを見ます。<br>（例）※定期テスト、ワークシート<br>※授業中の様子<br>※実技テスト（音程・リズムを正確に演奏することができるか）                 |
| 思考力・判断力・表現力<br>（理解していること・できることをどう使うか）     | ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聞くことができるようになったかを見ます。<br>（例）※定期テスト、ワークシート<br>※授業中の様子<br>※実技テスト（強弱、表情など表現豊かに演奏することができるか）                                    |
| 主体的に学習に取り組む態度<br>（粘り強く努力するとともに自らの学習を調整する） | ・主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものしようとする態度を見ます。<br>（例）※自己評価表への取り組み<br>※授業中の様子（積極的に自分の考えや気づいたことなどを交流しているか）<br>※定期テスト、ワークシート |

## Ⅲ 年間指導計画

| 月  | 1 年                                         |
|----|---------------------------------------------|
| 4  | ・オリエンテーション<br>・「小俣中学校校歌」                    |
| 5  | ・「We' ll Find The Way」<br>・鑑賞「ジョーズのテーマ」     |
| 6  | ・歌唱テスト（「小俣中学校校歌」）<br>・「夢の世界を」<br>・鑑賞「四季より春」 |
| 7  | ・クラス合唱曲の選曲<br>・合唱練習                         |
| 8  | ・各クラス自由曲                                    |
| 9  | ・パート練習、合唱練習<br>・定期テスト②                      |
| 10 | ・合唱練習<br>・文化祭発表                             |
| 11 | ・歌唱テスト（「夢の世界を」）<br>・鑑賞「魔王」<br>・「朝の風に」       |
| 12 | ・「旅立ちの日に」<br>・「日本の民謡」                       |
| 1  | ・「旅立ちの日に」<br>・鑑賞「六段の調」                      |
| 2  | ・「Believe」<br>・学年末テスト                       |
| 3  | ・「Believe」<br>・1年間のまとめ                      |



# 中学校 1年生 美術科 学習案内

## 1 目標

- ・対象や事柄を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 2 学習の進め方

【使用教科書】 光村図書 美術 1

【副教材】 感じる表す美術(浜島書店)、レタリング字典・WATCH2(秀学社)

【上記以外】 絵の具セット、色鉛筆、クロッキー帳

学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう

### ○授業への取組

- ・材料や道具の基本的な用途を理解し、適切に使用しよう。
- ・学んだことをもとに発想や構想を工夫しよう。
- ・発想や構想をもとに作品として完成させ、自分なりに表現することに挑戦しよう。
- ・自他の作品のよさを理解しようと努力しよう。

### ○家庭学習の例

- ・必要に応じて、制作のための資料を積極的に収集しよう。
- ・長期休業中の絵画などの課題をしよう。

### ○定期テストへの取組の例

- ・資料を参考にして、スケッチやデッサンなど、描写技法の基礎技術を高めるトレーニングをしよう。
- ・資料を参考にして、美術の基礎知識や美術文化・美術史などの知識の充実を図ろう。

## 3 評価について

|                                                       | 観 点                                                                                                                                                                                                                                                   | 評価の場面・方法                                                              |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>(何を理解しているか<br>何ができるか)                        | <p>○形や色彩などによる表現の技能を身に付け、得た知識を用いて、意図に応じて創意工夫し美しく表現しようとしている。</p> <p>○材料や用具の特性などから制作の見通しをもって表現しようとしている。</p>                                                                                                                                              | <p>○作品の知識・理解</p> <p>○作品の表現力</p> <p>○作品の完成度と美術の技能</p> <p>○定期テスト</p>    |
| 思考・判断力・<br>表現力<br>(理解していること・<br>できることをどう<br>使うか)      | <p>○対象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことを基に主題を生み出すことができる。</p> <p>○主題などを基に豊かに発想し創造的な構想を工夫しようとしている。</p> <p>○美術作品の鑑賞活動を通して造形的なよさや美しさ、作者の心情と意図と表現の工夫、美と機能性の調和、生活における美術の働きなどを感じとり、また美術文化に対する関心を高めることができる。</p> <p>○感じ取ったよさや美しさを文章に表すことによって対象の見方や感じ方を伝えることができる。</p> | <p>○アイデアスケッチ</p> <p>○作品の発想、構想力</p> <p>○作品の知識・理解</p> <p>○鑑賞文による表現力</p> |
| 主体的に学習に<br>取り組む態度<br>(粘り強く努力する<br>とともに自らの学習<br>を調整する) | <p>○対象や主題について関心を持ち、美術の創作活動の喜びを味わい美術を愛好する心情と態度をもって意欲的に授業に取り組もうとしている。</p> <p>○学習した内容を進んで活用しようとしている。</p>                                                                                                                                                 | <p>○授業中の発言、発表の様子</p> <p>○作品作りに取り組む姿勢</p> <p>○鑑賞、課題の提出状況</p>           |

#### 4 学習内容について

| 学 習 計 画 |             |                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|-------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学期      | 月           | 単 元 計 画                                     | 評 価 観 点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 前期      | 4<br>・<br>5 | ○デッサンの基礎<br>グレースケール<br>模写（鉛筆デッサン）<br>鉛筆デッサン | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特性を理解して、対象物の形や明暗などを、正確に描写することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察したことを、目的に応じて描き方や材料を工夫して描写することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に鉛筆の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                     |
|         | 6<br>・<br>7 | ○アクリル画の制作<br>模写（アクリル画）                      | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、余白や遠近感による構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、絵のテーマを全体のイメージで捉えることについて理解している。</li> <li>・対象物の特徴をとらえ、自分のあらわしたい気持ちや、描きたいイメージを、材料や用具の特性などから、制作の見通しを立て、意図に応じて工夫して表わしている。</li> </ul> <p>【思考・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が心ひかれる対象物の特徴を見つけ、そのときの気持ちなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にアクリル絵の具の特性を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> |
|         | 8           | ○風景画の制作（夏季休業中の課題）                           | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に学習した描き方や材料の特性を工夫いかして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|         | 9           | ○アクリル画の制作<br>模写（アクリル画）                      | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、余白や遠近感による構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、絵のテーマを全体のイメージで捉えることについて理解している。</li> <li>・対象物の特徴をとらえ、自分のあらわしたい気持ちや、描きたいイメージを、材料や用具の特性などから、制作の見通しを立て、意図に応じて工夫して表わしている。</li> </ul> <p>【思考・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が心ひかれる対象物の特徴を見つけ、そのときの気持ちなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にアクリル絵の具の特性を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> |
|         |             | ○鑑賞<br>名画から学ぶ<br>・心ひかれるこの風景                 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な風景の形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、心ひかれる風景を全体のイメージで捉えている。</li> </ul> <p>【思考・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・描かれている風景の造形的なよさや美しさを感じ取り、その風景を描いた作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                 |

|    |    |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----|----|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    |                              | <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく風景を描いた作者の思いや表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 後期 | 10 | ○アクリル画の制作<br>静物画（アクリル画）      | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、余白や遠近感による構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、絵のテーマを全体のイメージで捉えることについて理解している。</li> <li>・対象物の特徴をとらえ、自分のあらわしたい気持ちや、描きたいイメージを、材料や用具の特性などから、制作の見通しを立て、意図に応じて工夫して表わしている。</li> </ul> <p>【思考・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が心ひかれる対象物の特徴を見つけ、そのときの気持ちなどをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にアクリル絵の具の特性を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> |
|    | 11 | ○鑑賞<br>名画から学ぶ<br>・受け継がれる日本の美 | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴、屏風などの表現形式などをもとに、日本の美術文化を全体のイメージや作風で捉えることについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燕子花をテーマにした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、屏風の特性などを考えるなどして、日本美術についての見方や感じ方を広げることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本の美術文化を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>                                                                                                             |
|    |    | ○平面構成<br>カラー・パターン（ポスターカラー）   | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色のもつ性質や色の知識を学び、ポスターカラーによる彩色表現ができている。</li> <li>・レタリングの基本をマスターして、美しく彩色することができている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成や装飾の目的や条件をもとに、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に発想をもとに構想し、素材の特性を生かしてデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>                                                                                                             |
|    | 12 | 平面構成<br>レタリング（ポスターカラー）       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|    |    | ○思いを伝える<br>イラスト（ポスターカラー）     | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、構成や配置などが見る人に与える効果や造形的な特徴をもとに、伝達したいテーマを全体のイメージで捉えることを理解している。</li> <li>・ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもってあらわしている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストなど、メッセージを伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫などを考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>                                        |
|    | 1  |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|    | 2  |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|    | 3  |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

## I 保健体育科の学習の取組について

学びを楽しもう

### 保健体育科の学習

#### 【教科の魅力】

生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現及び健康の保持増進の基礎を培う教科です。体育分野では、仲間と共に自ら進んで運動に取り組む中で、自己の体力を向上することができます。また、競争や試合などの経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する等の態度を養います。保健分野では、自分の体について知り、健康な生活をおくるために必要な技能や態度を身につけることができます。

#### 【保健体育科の学習を楽しむには】

- どの種目も積極的に参加し、自分の力を発揮できるように努力しましょう。
- 自己の記録や能力に応じて、自分の課題に応じた練習を見つけ、周りの仲間とかかわりながら、技能の向上を目指しましょう。そして、達成感を体得しましょう。
- 全員で協力し、ルールやマナーを守り、お互いに認め合い、教え合い、励まし合いながら高め合う活動にしましょう。
- いつでも運動ができるように、自分の健康を管理しましょう。
- 自らの健康の保持増進を図るため、現在の自分の生活や行動を見つめ、考えていきましょう。

### 〈家庭学習のポイント〉

#### 【発展的な学習の仕方】

- 健康の保持増進のために、自分の身体を理解し、食事や睡眠について関心を持ちましょう。
- 生活のリズムを整え、健康に気を配り、丈夫な身体を作りましょう。
- 新体力テストの結果から、自己の現状を把握し課題を見付け、補強運動などを継続的に取り組みましょう。
- 各種のスポーツに興味をもち、いろいろなTV中継などを見ましょう。

## II 保健体育科の学習の評価について

| 観 点                                           |                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>(何を理解しているか<br>何ができるか)                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けたかどうかを見ます。</li> <li>・個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けたかどうかを見ます。</li> </ul>                 |
| 思考力・判断力・表現力<br>(理解していること・<br>できることをどう使うか)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていたかどうかを見ます。</li> <li>・健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養えたかどうかを見ます。</li> </ul>                                |
| 主体的に学習に取り組む態度<br>(粘り強く努力するとともに<br>自らの学習を調整する) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動しようとしたかどうかを見ます。</li> <li>・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養えたかどうかを見ます。</li> </ul> |



## 年間指導計画



|            | 1 年                                                                              |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月<br>5 月 | オリエンテーション<br>集団行動・ラジオ体操<br>新体カテスト<br>体 っ く り 運 動 （体ほぐしの運動を含む）<br>保健（健康な生活と疾病の予防） |
| 6 月        | 陸上競技（短距離・リレー）<br>球技（バレーボール）<br>体育理論<br>保健（健康な生活と疾病の予防）                           |
| 7 月        | 陸上競技（短距離・リレー）<br>球技（バレーボール）<br>水泳の事故防止に関する心得                                     |
| 9 月        | 集団行動<br>器械運動（マット運動）<br>球技（ソフトボール）                                                |
| 10 月       | 器械運動（マット運動）<br>球技（ソフトボール）<br>保健（心身の機能の発達と心の健康）                                   |
| 11 月       | 陸上競技（長距離走）<br>体 っ く り 運 動 （体ほぐしの運動を含む）<br>保健（心身の機能の発達と心の健康）                      |
| 12 月       | 陸上競技（長距離走）<br>武道（相撲）<br>ダンス<br>保健（心身の機能の発達と心の健康）                                 |
| 1 月        | 球技（バスケットボール）<br>球技（サッカー）<br>ダンス<br>保健（心身の機能の発達と心の健康）                             |
| 2 月        | 球技（バスケットボール）<br>球技（サッカー）<br>保健（心身の機能の発達と心の健康）                                    |
| 3 月        | 球技（バドミントン・卓球・ソフトテニス）                                                             |

# 第1学年 技術・家庭科（技術分野） 学習案内

## 1. 目標

- ・生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギーの変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。
- ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、施策等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 2. 指導計画

| 月  | 「生物育成の技術」「情報の技術」                                 |
|----|--------------------------------------------------|
| 4  | ○オリエンテーション                                       |
| 5  | ○技術分野のガイダンス<br>○生物育成の技術とは何だろう<br>○作物の育成環境を調節する技術 |
| 6  | ——— <b>実習</b> お米を育てよう！ ———                       |
| 7  | ○これからの生物育成の技術                                    |
| 8  |                                                  |
| 9  | ○情報の技術とは何だろう<br>○情報のデジタル化                        |
| 10 | ——— <b>実習</b> デジタル作品を制作しよう ———                   |
| 11 |                                                  |
| 12 | ○情報通信ネットワークの仕組み                                  |
| 1  |                                                  |
| 2  |                                                  |
| 3  |                                                  |

＜授業で使用するもの＞

- ・教科書（東京書籍）
- ・ワーク（正進社）
- ・プリント
- ・実習教材                      など



## 3. 評価

| 観点                                                | 主な具体的な内容                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>(何を理解しているか、<br>何ができるか)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。</li> <li>・実習では、必要な道具や工具を安全かつ適切に使用することができる。</li> <li>・実習では、集中して作業し、構想通りに完成させることができる。</li> <li>・実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。</li> </ul> |
| 思考力・判断力・表現力<br>(理解していること、<br>できることをどう使うか)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。</li> <li>・実習では、創意工夫を凝らし、より良い作品をつくることができる。</li> </ul>                                                                                 |
| 主体的に学習に<br>取り組む態度<br>(粘り強く努力するとともに<br>自らの学習を調整する) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。</li> <li>・授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。</li> <li>・授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。</li> <li>・提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。</li> </ul>                         |

# 第1学年 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

## 1. 目標

- ・ 衣生活や住生活についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、健康や社会、環境との関りについて理解しよう。
- ・ 衣生活や住生活に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、衣生活や住生活での技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用しよう。
- ・ 進んで生活と関わろうとするとともに、主体的に衣生活や住生活に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に生活を工夫し創造しよう。

## 2. 指導計画

| 月  | 「私たちの住生活・私たちの衣生活」  |
|----|--------------------|
| 4  | 授業についてのガイダンス       |
| 5  | 3編<br>私たちの住生活      |
|    | 1 住まいのはたらきと安全な住まい方 |
|    | 1 もしも住まいがなかったら     |
|    | 2 住まいと気候風土の関わり     |
|    | 3 健康で快適な室内環境       |
| 6  | 4 家族の住まいを安全・安心に    |
|    | 5 災害への対策           |
| 7  | 6 持続可能な住生活を目指して    |
| 8  |                    |
| 9  | 2編 私たちの衣生活         |
|    | 1 衣服の洗濯と手入れ        |
| 10 | 1 どうして衣服を着るのだろう    |
| 11 | 2 私らしさと T. P. O    |
| 12 | 3 日本の衣文化           |
| 1  | 4 衣服計画と必要な衣服の選択    |
|    | 5 衣服の手入れ           |
|    | 2 生活を豊かにするために      |
| 2  | 1 作って楽しい布作品        |
| 3  | 2 持続可能な衣生活を目指して    |

## 3. 評価

| 観点                                                | 主な具体的な内容                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>(何を理解しているか、<br>何ができるか)                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習した内容を十分に理解し、知識として身につけている。</li> <li>・ 実習では、必要な道具を安全かつ適切に使用することができる。</li> <li>・ 実習では、集中して作業し、構想通りに完成させることができる。</li> <li>・ 実習を通して、生活に必要な技能を身につけることができる。</li> </ul> |
| 思考力・判断力・表現力<br>(理解していること、<br>できることをどう使うか)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活や社会との関わりを意識し、生活にいかすことができる。</li> <li>・ 実習では、創意工夫を凝らし、より良い作品をつくることができる。</li> </ul>                                                                                |
| 主体的に学習に<br>取り組む態度<br>(粘り強く努力するとともに<br>自らの学習を調整する) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業時刻を守り、授業に参加（出席）する。</li> <li>・ 授業に必要なものを準備する（忘れ物をしない）。</li> <li>・ 授業に適した服装で授業に臨み、学習に意欲的に取り組む。</li> <li>・ 提出物は、内容等を整え、期日を守って提出する。</li> </ul>                      |

# 1年生 英語科 学習案内

## 1 目標

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## 2 学習の進め方

| 【使用教材】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 【持ち物】                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 BLUE SKY English Course I</li> <li>・英語ノート</li> <li>・JOYFUL WORKBOOK ジョイフルワーク I</li> <li>・Let's Enjoy BINGO I</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書 BLUE SKY English Course I</li> <li>・英語ノート</li> <li>・JOYFUL WORKBOOK ジョイフルワーク I</li> <li>・Let's Enjoy BINGO I</li> <li>・ファイル</li> </ul> |
| <p>学習課題やめあてを確認し、学習後にはめあてが達成できたかどうか自分の学びの振り返りをしよう。</p> <p>○授業への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を聞く、話す、読む、書くことに興味をもち、小学校の外国語活動、外国語科を思い出しながら、ペアワーク・グループワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しよう。</li> <li>・学習した英語をよく聞いたり読んだりして、話し手や書き手の表現している内容を理解する力を身に付けよう。</li> <li>・学習した英語を使って話したり書いたりして、自分の考えなどを表現する力を身に付けよう。</li> <li>・英語の表現方法や言葉のルールを理解するとともに、外国語を使用する人々の文化を理解する力を身に付けよう。</li> <li>・大きな声で発音し、間違いを恐れずどんどん発表し、先生の話や他の人の発表をしっかりと聞こう。</li> <li>・誰とでもペアワーク・グループワークができるように協力し合い、楽しい雰囲気の中で学習を進めよう。</li> <li>・ALTに積極的に英語で話しかけよう。</li> </ul> <p>○家庭学習の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、次に習う新出単語の意味を調べよう。</li> <li>・復習として、習った教科書の本文や基本本文を何度も声に出して読んだり書いたりして、内容を確認しよう。</li> <li>・宿題やワークに積極的に取り組み、授業の復習をしよう。</li> <li>・予習復習では、小学校での学習を常に振り返りながら進めよう。</li> <li>・普段から英語の歌や映画の他、スポーツや料理など自分の興味に応じて、外国での様子を調べてみよう。</li> </ul> <p>○定期テストへの取組の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を繰り返し音読し、単語・基本本文・本文を覚え、語彙を増やそう。</li> <li>・英語の表現方法や言葉のルールを復習し、ワーク・プリント・ノートを見直そう。</li> </ul> <p>英語は、人とコミュニケーションをとる手段の1つです。英語が話せることで大きく広がる自分の世界を想像しながら、目標をもって学習し、英語を身に付けていこう。きれいな発音とイントネーションで英語が話せるように、積極的に練習していこう。</p> |                                                                                                                                                                                    |

## 3 評価について

| 観 点                                           |                                                                                                             |
|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識・技能<br>(何を理解しているか、<br>何ができるか)               | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおける活用できる技能が身に付いたかどうかを見ます。       |
| 思考力・判断力・表現力<br>(理解していること・<br>できることをどう使うか)     | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養えたかどうかを見ます。 |
| 主体的に学習に取り組む態度<br>(粘り強く努力するとともに<br>自らの学習を調整する) | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養えたかどうかを見ます。                      |

\* 以上のことをもとに、各観点を3段階ABCで評価します。テストだけでは評価をしませんので、コミュニケーションに向かう姿勢、授業、提出物や宿題等に真摯に取り組めば、よりよい評価につながります。日々の努力を大切にしてください。

#### 4 学習内容について

| 月   | Unit (単元) テーマ  | 項目              | 内容                                                            |
|-----|----------------|-----------------|---------------------------------------------------------------|
| 4   | Let's Start 1  | 学校での会話を聞こう      | 教科の名前を聞き取る                                                    |
|     | Let's Start 2  | 町での会話を聞こう       | 建物の名前を聞き取る                                                    |
|     | Let's Start 3  | アルファベットを読み書きしよう | アルファベットを復習して自分の名刺を作る                                          |
|     | Let's Start 4  | 英語の文字が表す音を聞こう   | 英語の文字が表す音を確認する                                                |
|     | Let's Start 5  | 英語の文字が表す音に慣れよう  | 英語の文字と音を結びつける                                                 |
|     | Let's Start 6  | 数字を聞いて使ってみよう    | 値段や誕生日を聞き取ったり書いたりする                                           |
|     | Let's Start 7  | 英語を聞いて使ってみよう    | 小学校の思い出と中学校でしたいことを話す                                          |
| 5   | Unit 1         | 英語で話そう          | Part 1<br>be 動詞 am                                            |
|     |                |                 | Part 2<br>be 動詞 are                                           |
|     | Unit 2         | 学校で             | Part 1<br>指示代名詞 this, that/be 動詞 is                           |
|     |                |                 | Part 2<br>what を使う疑問文 (be 動詞)                                 |
|     |                |                 | Part 3<br>人称代名詞 he, she                                       |
| 6   | Let's Talk 1   | 時刻              | 時刻をたずねたり答えたりする (What time is it?/It's ~.)                     |
|     | Target のまとめ ①  |                 | be 動詞                                                         |
|     | Unit 3         | 海外からの転校生        | Part 1<br>一般動詞                                                |
|     |                |                 | Part 2<br>一般動詞の疑問文・否定文                                        |
|     |                |                 | Part 3<br>命令文・否定命令文                                           |
|     | Let's Talk 2   | 私もです            | あいづちをうつ (Me, too.)                                            |
|     | Target のまとめ ②  |                 | 一般動詞                                                          |
|     | Unit 4         | 美術館で            | Part 1<br>what を使う疑問文 (一般動詞)                                  |
|     |                |                 | Part 2<br>名詞の複数形                                              |
|     |                |                 | Part 3<br>How many ~?                                         |
| 7   | Let's Talk 3   | ショッピング          | 値段をたずねる (How much ~?/It's ~.)                                 |
|     | Let's Listen 1 | フロア案内           | 店内の情報を聞き取る/アクセント                                              |
|     | Target のまとめ ③  |                 | 名詞の複数形                                                        |
|     | Project 1      | 自己紹介をしよう        | 自己紹介文を書いて発表する                                                 |
| 8・9 | Unit 5         | エミリーの家で         | Part 1<br>Can                                                 |
|     |                |                 | Part 2<br>who を使う疑問文                                          |
|     |                |                 | Part 3<br>人称代名詞 (目的格)                                         |
|     | Let's Talk 4   | だれのもの?          | 持ち主をたずねたり答えたりする (Whose ~?/~'s.)                               |
|     | Target のまとめ ④  |                 | Can                                                           |
| 10  | Target のまとめ ⑤  |                 | 人称代名詞の変化                                                      |
|     | Unit 6         | ぼくのおじいさん        | Part 1<br>3 人称・単数・現在                                          |
|     |                |                 | Part 2<br>3 人称・単数・現在の疑問文                                      |
|     |                |                 | Part 3<br>3 人称・単数・現在の否定文                                      |
|     | Let's Talk 5   | お願い             | 相手に依頼する (Can you ~?)                                          |
| 11  | Target のまとめ ⑥  |                 | 3 人称・単数・現在                                                    |
|     | Unit 7         | アメリカの学校         | Part 1<br>when を使う疑問文                                         |
|     |                |                 | Part 2<br>where を使う疑問文                                        |
|     |                |                 | Part 3<br>how を使う疑問文                                          |
|     | Let's Talk 6   | 道案内             | 道順を伝える (Go straight down ~./Turn right at ~. /~on your left.) |
|     | Target のまとめ ⑦  |                 | 疑問詞を使う疑問文                                                     |
|     | Unit 8         | ベル先生の買い物        | Part 1<br>which を使う疑問文                                        |
| 12  |                |                 | Part 2<br>why を使う疑問文                                          |
|     |                |                 | Part 3<br>be 動詞の過去形                                           |
|     | Let's Talk 7   | ファーストフード店       | 飲食店で注文する (Can I ~?)                                           |
|     | Let's Listen 2 | コマーシャル          | 金額などの情報を聞き取る/リズム                                              |
|     | Target のまとめ ⑧  |                 | be 動詞の過去形                                                     |
| 1   | Project 2      | 友だちにインタビューしよう   | 友だちや先生にインタビューして紹介文を書く                                         |
|     | Unit 9         | 冬休みの思い出         | Part 1<br>一般動詞の過去形 (規則動詞)                                     |
|     |                |                 | Part 2<br>一般動詞の過去形 (不規則動詞)                                    |
|     |                |                 | Part 3<br>一般動詞の過去形の疑問文・否定文                                    |
|     | Read & Think   |                 | My Trip to New York [説明文] ベル先生の冬休み ニューヨーク旅行記                  |
| 2   | Let's Talk 8   | なんてすてきな         | 感動や驚きを表す (What ~!/How ~!)                                     |
|     | Target のまとめ ⑨  |                 | 一般動詞の過去形                                                      |
|     | Unit 10        | 日本のマンガ文化        | Part 1<br>現在進行形                                               |
|     |                |                 | Part 2<br>現在進行形の疑問文・否定文                                       |
|     |                |                 | Part 3<br>what を使う現在進行形の疑問文                                   |
| 3   | Read & Think   |                 | Japanese Manga and Anime [説明文] パリで開催されるジャパンエキスポ               |
|     | Let's Talk 9   | 電話              | 電話をかける (Hello, This is ~./What's up?)                         |
|     | Let's Listen 3 | ニュース            | どこで何が起きているのかを聞き取る/イントネーション                                    |
|     | Target のまとめ ⑩  |                 | 現在進行形                                                         |
|     | Project 3      | 日記を書こう          | 日記を書いて交換し、相手の日記について質問する                                       |
| 3   | Let's Read 1   |                 | The Crow and the Pitcher [物語文] カラスと水差し (イソップ物語より)             |
|     | Let's Read 2   |                 | River Crossing Puzzle [説明文]<br>オオカミ・ヤギ・キャベツの川渡しの組み合わせ         |

## I 道徳科の学習の取り組みについて

### 1. 道徳科の目標（1年生）

- ① 中学生として望ましい、基本的な生活習慣を身につける。
- ② 思いやりの気持ちを持ち、お互いに認め合う態度を養う。
- ③ 強い意志を持ち、何事にも集中して最後までやり抜く姿勢を養う。

### 2. 主に学習すること

道徳の時間に指導したい内容を次の4つの視点から分類し、「心を磨き」ます。

- ① 自分自身のこと
  - ・心も体も元気でいましょう。・より高い目標を目指してやり抜く強い心を持ちましょう。
  - ・自分で考え判断して行動しましょう。・理想をもって前向きに過ごしましょう。
- ② 他の人との関わり
  - ・時と場に応じた言動をとれるようにしましょう。・周りの人への温かい思いやりの心を持ちましょう。・友という宝をもちましょう。・認め合い学びあう心を持ちましょう。
- ③ 自然や崇高なものとの関わり
  - ・それぞれたった一つの自他の生命を大切にしましょう。・自然のすばらしさに感動できる心を持ちましょう。・人には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを知ろう。
- ④ 社会や集団との関わり
  - ・法律やきまりを守ることの大切さを知ろう。・正義を信じ、不正を許さない心をもとう。
  - ・自分の役割や責任を自覚して、社会の力になろう。・家族の一員であることを意識しよう。
  - ・自分の学校や仲間に誇りをもって、さらによくしていこう。・国を愛して、この国に生きる気概（困難にくじけない強い意志）をもとう。・ひとりの人間として世界に目を向け、平和や幸せを考えられるようになろう。

### 3. 教科の学習方法

#### ① 読み物教材の登場人物へのかかわりが中心になる学習

登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的に考えることなどを通して、理解を深めましょう。

#### ② 問題解決的な学習

問題解決的な学習を通して、道徳的な問題を考え、生きていく上で出会う様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養いましょう。

#### ③ 道徳行為に関する体験的な学習

役割演技などの疑似体験的な表現活動を通して、道徳的価値の理解を深め、様々な課題や問題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養いましょう。

## II 道徳科の学習の評価について

（観点）①一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させている。

②道徳的価値の理解を自分自身の中で深めている。

（資料）・授業中の発言等の様子・ワークシート、ポートフォリオ・自己評価（ふりかえり表）

（評価）上記の観点について、個人の成長を励ます個人内評価を記述式で行う。

### Ⅲ学習計画

| 月  | 回  | 内容・教材名               | 内容項目                      |
|----|----|----------------------|---------------------------|
| 4  | 1  | 道徳の授業を始めよう！          |                           |
|    | 2  | 自分で決めるって？            | A(1)自主，自律，自由と責任           |
| 5  | 3  | 三百六十五×十四回分の「ありがとう」   | C(14)家族愛，家庭生活の充実          |
|    | 4  | 「養生訓」より              | A(2)節度，節制                 |
|    | 5  | 魚の涙                  | C(11)公正，公平，社会正義           |
|    | 6  | 私の話を聞いてね             | B(9)相互理解，寛容               |
| 6  | 7  | 六十二枚の天気図             | A(5)真理の探究，創造              |
|    | 8  | 学習机                  | B(7)礼儀                    |
|    | 9  | 席を譲ったけれど             | B(6)思いやり，感謝               |
|    | 10 | 言葉の向こうに              | B(9)相互理解，寛容               |
| 7  | 11 | 裏庭での出来事              | A(1)自主，自律，自由と責任           |
|    | 12 | 平和学習                 | C(18)国際理解，国際貢献            |
|    | 13 | 父の言葉                 | B(6)思いやり，感謝               |
| 9  | 14 | 紙芝居                  | C(12)社会参画，公共の精神           |
|    | 15 | みんなで成功させよう           | C(15)よりよい学校生活，集団生活の充実     |
|    | 16 | 銀色のシャープペンシル          | D(22)よりよく生きる喜び            |
| 10 | 17 | 夢を諦めない——「ねぶた師」北村麻子   | A(4)希望と勇気，克己と強い意志         |
|    | 18 | 仏の銀蔵                 | C(10)遵法精神，公德心             |
|    | 19 | なおしもん                | C(16)郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度 |
| 11 | 20 | 捨てられた悲しみ             | D(19)生命の尊さ                |
|    | 21 | 「ソーセージ」の悲しい最後        | D(20)自然愛護                 |
|    | 22 | 日本のお米                | C(17)我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度 |
|    | 23 | 異文化の人々と共に生きる         | C(18)国際理解，国際貢献            |
| 12 | 24 | 命の木                  | D(21)感動，畏敬の念              |
|    | 25 | 人権フォーラム還流学習会         | B(8)友情，信頼                 |
|    | 26 | 親友                   | B(8)友情，信頼                 |
| 1  | 27 | ひまわり                 | D(19)生命の尊さ                |
|    | 28 | やっぱり樹里は              | C(11)公正，公平，社会正義           |
|    | 29 | 私が働く理由               | C(13)勤労                   |
| 2  | 30 | カメは自分を知っていた          | A(3)向上心，個性の伸長             |
|    | 31 | 撮れなかった一枚の写真          | D(22)よりよく生きる喜び            |
|    | 32 | エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」 | D(19)生命の尊さ                |
|    | 33 | 卒業式に向けて練習            | C(15)よりよい学校生活，集団生活の充実     |
| 3  | 34 | 初めての伴奏               | C(15)よりよい学校生活，集団生活の充実     |
|    | 35 | 道徳の学びを振り返ろう          |                           |